

受 令和 7 年 8 月 2 5 日
付 午前・午後 9 時 0 0 分

一般質問（代表・個人） 通告書

令和 7 年 8 月 2 5 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 いとう 伸一

尾張旭市議会会議規則第 5 0 条第 1 項の規定により 9 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 2 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	1 回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質 問 事 項

小中学生の「算数と数学」について

No. 1

資源を持たない日本の将来には技術が大切である。しかし、高校生や大学生は「理系離れ」、児童生徒は「算数と数学が得意なのに嫌い、特に中学校の数学になると苦手になる傾向がある」とも言われる。

また、国際比較において、日本の児童生徒は成績がよくても学び続ける意欲が低い傾向があると聞く。

一方、デジタル化やA I の進歩により学習環境は大きく変化している。そこで、教育現場の算数と数学に関する現状と課題を伺い、今後の算数と数学教育を考える機会にしたい。

- (1) 「算数と数学嫌い」の実態は
- (2) 「算数と数学が苦手」の特徴は
- (3) 学び方を創意工夫する姿勢は
自分で考える前に教えていないか。
- (4) I C T教育の現状と課題は
- (5) 生成A Iの活用について
- (6) 九九や計算問題の学習状況は
- (7) デジタル社会で手書き学習は必要か
- (8) 実生活での実用的な学びになっているか
- (9) 知識詰め込み重視型教育になっていないか
- (10) 得意な児童生徒を更に伸ばすには

※ 申し合わせ事項に留意する。

世帯当たりの人数想定について伺う。

※ 申し合わせ事項に留意する。